

進路だより

2016年7月12日 貝塚市立第二中学校 NO16

学力検査問題の種類並びに学力検査の成績及び調査書の評定にかける倍率のタイプ (抜粋)

が発表されたのでお知らせします。(抜粋のため番号は連続していません。その他の高校は大阪府教育委員会のHPをご覧ください。)(注)「市立」と表している学校は、大阪市立です。網掛けは、昨年度から変更があった事を表します。

1 特別入学者選抜

(1) 全日制の課程 専門学科

No.	学校名	学科名			学力検査問題の種類			倍率のタイプ	
		普通科	専門学科		国語	数学	英語		
1	市立工芸	—	建築デザイン科	インテリアデザイン科	プロダクトデザイン科	B	B	B	II
			映像デザイン科	ビジュアルデザイン科	美術科				
2	岸和田市立産業	—	デザインシステム科			B	B	B	III
3	摂津	—	体育科			B	B	B	III
4	大塚	—	体育科			B	B	B	III
5	市立桜宮	—	人間スポーツ科学科			B	B	B	II
6	市立汎愛	—	体育科	武道科(スポーツ)		B	B	B	I
7	東住吉	—	芸能文化科			B	B	B	I
8	市立咲くやこの花	—	演劇科			B	B	B	II
9	夕陽丘	—	音楽科			B	B	B	III
10	港南造形	—	総合造形科			B	B	B	III

(2) 全日制の課程 総合学科(エンパワメントスクール)

No.	学校名	学科名			学力検査問題の種類			倍率のタイプ	
		普通科	専門学科等		国語	数学	英語		
12	西成	—	総合学科 (エンパワメントスクール)			A	A	A	III
16	岬	—	総合学科 (エンパワメントスクール)			A	A	A	III

(3) 多部制単位制 I 部及びII 部並びに昼夜間単位制

No.	学校名	学科名			学力検査問題の種類			倍率のタイプ	
		普通科	専門学科		国語	数学	英語		
17	桃谷	普通科 (クリエイティブスクール)			A	A	A	III	
18	市立中央	普通科	ビジネス科			A	A	A	II

(注1) 特別入学者選抜等における問題の種類及び特徴

種類	特徴		
	国語	数学	英語
A (基礎的問題)	基礎的な内容の文章を正確に理解する力を問う問題や、国語に関する基礎的な知識を問う問題を中心に出题する。	基礎的な計算問題を出题するとともに、「数と式」、「図形」、「関数」、「資料の活用」の基礎的な事項についての理解を問う問題を中心に出题する。	〔筆答〕 基礎的な語彙・文法の理解を問う問題とともに、基礎的な内容の英文を読み取る力を問う問題を中心に出题する。 〔リスニング〕 自然な口調で話された英語からその具体的な内容や必要な情報を聞き取る力を問う問題を中心に出题する。
B (標準的問題)	基礎的・標準的な内容の文章を正確に理解する力を問う問題を中心に、問われたことがらについて適切に表現する力を問う問題をあわせて出题する。	「数と式」、「図形」、「関数」、「資料の活用」の基礎的・標準的な事項についての理解を問う問題を中心に出题する。	〔筆答〕 基礎的な語彙・文法についての理解を問うたうえで、基礎的・標準的な内容の英文を読み取る力を問う問題を中心に出题する。 〔リスニング〕 自然な口調で話された英語からその具体的な内容や必要な情報を聞き取る力を問う問題を中心に出题する。

*A、B問題のリスニングテストについては、同一問題を使用します。

(注2) 特別入学者選抜等における学力検査の成績及び調査書の評定にかける倍率のタイプ

総合点を算出するにあたって、学力検査の成績及び調査書の評定にかける倍率は、次の表のとおり5つのタイプである。
 なお、実技検査を実施する選抜においては、総合点は、学力検査の成績と調査書の評定にそれぞれ定められた倍率をかけて求めた点数に、実技検査の成績を加えたものとする。

倍率のタイプ	学力検査の成績にかける倍率	調査書の評定にかける倍率	参考		
			学力検査の満点	調査書の満点	総合点
I	1.4倍	0.6倍	315点	135点	450点
II	1.2倍	0.8倍	270点	180点	
III	1.0倍	1.0倍	225点	225点	
IV	0.8倍	1.2倍	180点	270点	
V	0.6倍	1.4倍	135点	315点	

2 一般入学者選抜

(1) 全日制の課程 普通科（総合選択制及び単位制高等学校を含む。）を設置している高等学校

No.	学校名	学科名				学力検査問題の種類			倍率のタイプ
		普通科	専門学科			国語	数学	英語	
9	港	普通科				B	B	B	I
72	登美丘	普通科				B	B	B	I
73	泉陽	普通科				C	C	C	I
74	三国丘	普通科	文理学科			C	C	C	I
75	金岡	普通科				B	B	B	II
76	東百舌鳥	普通科				B	B	B	II
77	堺西	普通科				B	B	B	II
78	福泉	普通科				A	A	A	IV
79	堺上	普通科				B	A	A	III
80	成美	普通科総合選択制				B	A	B	III
81	美原	普通科				A	A	A	IV
82	泉大津	普通科				B	B	B	II
83	信太	普通科				A	A	A	IV
84	高石	普通科				B	B	B	I
85	和泉	普通科	グローバル科			C	C	C	I
86	岸和田	普通科	文理学科			C	C	C	I
87	久米田	普通科				B	B	B	I
88	佐野	普通科	国際教養科			C	B	C	I
89	日根野	普通科				B	B	B	I
90	貝塚南	普通科				B	B	B	I
91	りんくう翔南	普通科				B	B	B	III
92	泉鳥取	普通科				B	A	A	IV
93	市立東	普通科	英語科	理数科		B	B	B	I
94	市立桜宮	普通科				B	B	B	III
95	市立汎愛	普通科				B	B	B	I
96	大阪市立	普通科	英語科	理数科		B	B	B	I
97	東大阪市立日新	普通科総合選択制	英語科	商業科		B	B	B	III
98	市岡	普通科 (単位制高等学校)				C	B	C	I
99	大阪府教育 センター附属	普通科 (単位制高等学校)				B	B	B	III
100	槻の木	普通科 (単位制高等学校)				B	B	B	II
101	鳳	普通科 (単位制高等学校)				C	B	C	I

(2) 全日制の課程 専門学科のみを設置している高等学校

No.	学校名	学科名			学力検査問題の種類			倍率のタイプ
		普通科	専門学科		国語	数学	英語	
105	岸和田市立産業	—	商業科	情報科	B	B	B	Ⅲ
107	堺市立堺	—	サイエンス創造科	機械材料創造科	B	B	B	Ⅱ
			マネジメント創造科					
108	市立大阪ビジネスフロンティア	—	グローバルビジネス科		B	B	C	Ⅲ
109	園芸	—	フラワーファクトリ科	環境緑化科	A	A	A	Ⅳ
113	今宮工科	—	工業に関する学科 (総合募集の専科)	工業に関する学科 (工学系大学進学専科)	B	A	A	Ⅱ
118	堺工科	—	工業に関する学科		A	A	A	Ⅲ
119	佐野工科	—	工業に関する学科		A	B	A	Ⅳ
124	市立南	—	英語科	国語科	B	B	B	Ⅰ
125	住吉	—	国際文化科	総合科学科	C	C	C	Ⅰ
127	泉北	—	国際文化科	総合科学科	C	B	B	Ⅱ
128	北野	—	文理学科		C	C	C	Ⅰ
129	天王寺	—	文理学科		C	C	C	Ⅰ

(3) 全日制の課程 総合学科 (エンパワメントスクール及びクリエイティブスクールを除く。) を設置している高等学校

No.	学校名	学科名			学力検査問題の種類			倍率のタイプ
		普通科	専門学科等		国語	数学	英語	
131	今宮	—	総合学科		C	B	C	Ⅰ
141	伯太	—	総合学科		A	A	A	Ⅳ
142	貝塚	—	総合学科		B	B	B	Ⅱ
144	市立咲くやこの花	—	総合学科	食物文化科	B	B	B	Ⅱ

(4) 全日制の課程 総合学科 (クリエイティブスクール)

No.	学校名	学科名			学力検査問題の種類			倍率のタイプ
		普通科	専門学科等		国語	数学	英語	
145	東住吉総合	—	総合学科 (クリエイティブスクール)		B	B	B	Ⅱ
146	和泉総合	—	総合学科 (クリエイティブスクール)		A	A	A	Ⅳ

(5) 多部制単位制Ⅲ部 (クリエイティブスクール) 及び定時制の課程

*多部制単位制Ⅲ部

No.	学校名	学科名			学力検査問題の種類			倍率のタイプ
		普通科	専門学科等		国語	数学	英語	
152	三国丘	普通科			A	A	A	Ⅲ
155	岸和田市立産業	—	商業科		A	A	A	Ⅲ
156	堺市立堺	—	マネジメント創造科	工業に関する学科	A	A	A	Ⅲ
157	市立第二工芸	—	工業に関する学科		A	A	A	Ⅲ
159	今宮工科	—	総合学科		A	A	A	Ⅲ
162	堺工科	—	総合学科		A	A	A	Ⅲ
163	佐野工科	—	総合学科		A	A	A	Ⅲ
165	和泉総合	—	総合学科 (クリエイティブスクール)		A	A	A	Ⅲ
166	桃谷	普通科* (クリエイティブスクール)	—		A	A	A	Ⅲ

(注3) 一般入学者選抜における問題の種類及び特徴

*A、B問題のリスニングテストについては、同一問題を使用します。
 *C問題におけるリスニングテストの配点は約33%（3分の1）とします。

種類	特徴		
	国語	数学	英語
A (基礎的問題)	基礎的な内容の文章を正確に理解する力を問う問題や、国語に関する基礎的な知識を問う問題を中心に出题する。	基礎的な計算問題を出题するとともに、「数と式」、「図形」、「関数」、「資料の活用」の基礎的な事項についての理解を問う問題を中心に出题する。	〔筆答〕 基礎的な語彙・文法の理解を問う問題とともに、基礎的な内容の英文を読み取る力を問う問題を中心に出题する。 〔リスニング〕 自然な口調で話された英語からその具体的な内容や必要な情報を聞き取る力を問う問題を中心に出题する。
B (標準的問題)	基礎的・標準的な内容の文章を正確に理解する力を問う問題を中心に、問われたことがらについて適切に表現する力を問う問題をあわせて出题する。	「数と式」、「図形」、「関数」、「資料の活用」の基礎的・標準的な事項についての理解を問う問題を中心に出题する。	〔筆答〕 基礎的な語彙・文法についての理解を問ううえで、基礎的・標準的な内容の英文を読み取る力を問う問題を中心に出题する。 〔リスニング〕 自然な口調で話された英語からその具体的な内容や必要な情報を聞き取る力を問う問題を中心に出题する。
C (発展的問題)	標準的・発展的な内容の文章を正確に理解する力を問う問題とともに、問われたことがらについて適切に表現する力を問う問題を中心に出题する。	「数と式」、「図形」、「関数」、「資料の活用」の標準的・発展的な事項について、数学的に処理し判断する力を問う問題を中心に出题する。	〔筆答〕 標準的・発展的な内容の英文の中から、話題や論理の流れに沿って必要な情報を素早く読み取る力を問う問題とともに、一定量以上のまとまりのある内容を英文で適切に表現する力を問う問題を中心に出题する。 ※問題文は、指示文を含め、すべて英語で構成する。 〔リスニング〕 自然な口調で話された英語からその具体的な内容や必要な情報を聞き取る力を問う問題とともに、「読む・聞く・書く」技能を統合的に活用する力を問う問題を出题する。

(注4) 一般入学者選抜（全日制の課程）における学力検査の成績及び調査書の評定にかける倍率のタイプ

総合点を算出するにあたって、学力検査の成績及び調査書の評定にかける倍率は、次の表のとおり5つのタイプである。

倍率のタイプ	学力検査の成績にかける倍率	調査書の評定にかける倍率	参考		
			学力検査の満点	調査書の満点	総合点
I	1.4倍	0.6倍	630点	270点	900点
II	1.2倍	0.8倍	540点	360点	
III	1.0倍	1.0倍	450点	450点	
IV	0.8倍	1.2倍	360点	540点	
V	0.6倍	1.4倍	270点	630点	

(注5) 一般入学者選抜（多部制単位制Ⅲ部（クリエイティブスクール）及び定時制の課程）における学力検査の成績及び調査書の評定にかける倍率のタイプ

総合点を算出するにあたって、学力検査の成績及び調査書の評定にかける倍率は、次の表のとおり5つのタイプである。

倍率のタイプ	学力検査の成績にかける倍率	調査書の評定にかける倍率	参考		
			学力検査の満点	調査書の満点	総合点
I	1.4倍	0.6倍	378点	162点	540点
II	1.2倍	0.8倍	324点	216点	
III	1.0倍	1.0倍	270点	270点	
IV	0.8倍	1.2倍	216点	324点	
V	0.6倍	1.4倍	162点	378点	